

シラバス（介護職員基礎研修）

課程 介護職員基礎研修課程

法人名 株式会社スパーテル

課程編成責任者 愛宕 悦子

科目番号・科目名	(1) 生活支援の理念と介護における尊厳の理解			
指導目標	<ul style="list-style-type: none"> ・人間観や人間像の理解に基づいた尊厳を支える介護・福祉について理解させる。 ・介護・福祉サービスの提供するにあたり、基本的視点の形成を促す。 			
項目番号・項目名	時間数 (分)	うち 通学 時間数	うち 通信 時間数	目標・講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 人間の理解	300	300	0	<ul style="list-style-type: none"> ・人間理解の視点、豊かな人間観、多様な価値観 ・古い ・尊厳 ・死生観 ・性
② 生活の考え方	450	450	0	生活とは何かを説明でき、多様な生活支援をする重要性について、事例に基づいて説明できる。 <ul style="list-style-type: none"> ・生活の定義 ・生活支援の考え方
③ 福祉の考え方	300	300	0	ノーマライゼーションの概念を、高齢者や障害者の事例に基づいて説明できる。 QOLの意味を説明でき、高齢者や障害者の生活事例に基づいて説明できる。 <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの福祉の考え方の流れ ・ノーマライゼーション ・QOL ・家族介護から社会介護へ ・エンパワメント、共生
④ 介護の基本的視点とケアワークの意義	450	450	0	家族による介護と専門職による介護の違いを説明し、専門職が介護することの意義を事例に基づいて説明できる。 介護の目指すもの、介護の専門性を説明できる。 <ul style="list-style-type: none"> ・尊厳を支えるケア ・介護の定義 ・介護職員の専門性 ・健康且つ主体的 ・能動的な生活に向けた支援等 ・ICFの視点に基づく援助 ・介護の専門性とチームケア
⑤ 利用者の権利と尊厳	150	150	0	虐待の定義、身体拘束、及びサービス利用者の尊厳、プライバシー等を傷つける介護を説明でき、対応策を説明できる。 <ul style="list-style-type: none"> ・権利擁護、アドボカシー ・虐待防止 ・身体拘束の禁止
⑥ 地域生活支援の理解と技術	150	150	0	全ての人に対する地域生活支援の意義、役割について概説できる。 高齢者や障害者が、地域で生活継続するために、各種の保険・医療・福祉サービスや地域のインフォーマルなサービス・活動とのトータルなネットワークの重要性について概説できる。 <ul style="list-style-type: none"> ・生活環境の捉え方 ・全ての人を対象とする地域生活支援 ・地域アセスメントの技術と方法 ・外出支援の技術 ・資源調整と啓発 ・リスクマネジメント
修了評価			/	
(合計時間数)				

シラバス（介護職員基礎研修）

課程 介護職員基礎研修課程

法人 株式会社スパータル

課程編成責任者 愛宕悦子

科目番号・科目名	(2) 高齢者・障害者等が活用する制度・サービスの理解			
指導目標	<p>・介護保険法、障害者自立支援法を中心とした高齢者・障害者の医療・保険・福祉制度及びサービスについて理解させる。(制度観の醸成)</p> <p>・各サービスの役割と業務について理解し、利用者の立場に沿ってサービス利用の流れを理解させる。 ・各地域の制度・サービスの現状・特徴について理解させる。</p>			
項目番号・項目名	時間数 (分)	うち 通学 時間数	うち 通信 時間数	目標・講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 高齢者福祉に関わる制度とサービスの知識	150	150	0	<p>高齢化率とは何かについて説明でき、日本の高齢化率の状況、高齢化の要因について、主要なポイントを説明できる。</p> <p>我が国の租税・社会保険料負担と社会保障給付の状況を説明できる。 (国民負担率と社会保障給付率)</p> <p>・高齢者保健福祉の背景と動向 ・その他高齢者保健福祉制度</p>
② 介護保険制度	150	150	0	<p>介護保険制度が成立した社会背景や国民の意識について、主要なものを列挙できる。</p> <p>介護保険制度の財源構成と保険料負担の大枠を説明できる。</p> <p>・介護保険制度の概要</p>
③ 介護サービスと介護報酬	300	300	0	<p>介護保険制度の代表的なサービスの種類と内容について、概説できる。 ケアマネジメントのしくみ、機関やその役割について、概説できる。 利用者の立場から、サービスの利用の流れや契約について説明できる。 介護報酬の基本構造を概説できる。生活全体の支援の中で、介護保険制度の前提・制約について概説できる。</p> <p>事業所の介護サービス情報の公表制度を概説できる。</p> <p>・各サービスの種類、内容、その役割</p> <p>・ケアマネジメントの仕組み、期間とその役割 ・業務内容、運営基準、契約等の理解 ・小規模・個別ケア、ユニットケア ・介護予防と地域包括支援センター ・日常生活圏域と小規模多機能サービス ・第3者評価、介護サービス情報の公開 ・苦情の受付 ・利用者からみたサービス利用の流れと利用者支援等の留意点</p>
④ 高齢者の保険・医療と介護保険	450	450	0	<p>高齢者医療制度について概説できる。</p> <p>・サービス事業所 ・サービス提供体制 ・保険料とサービス水準</p> <p>・都道府県、市町村独自の施策・制度</p>
⑤ 障害者福祉制度と施策	300	300	0	<p>高齢障害者が利用できる障害者福祉制度を列挙できる。</p> <p>・障害者福祉の背景と動向 ・障害者保険福祉制度の概況</p>
⑥ その他の制度・施策	450	450	0	<p>基礎年金の仕組みの大枠と、基礎年金の保険料・年金額の概ねの額を答えられる。</p> <p>自分の住んでいる市町村の介護保険サービス及び社会資源を具体的に説明できる。</p> <p>・医療制度 ・年金制度 ・住宅と居住施策 ・児童福祉 ・生活保護 ・地域福祉施策 ・成年後見、権利擁護、虐待防止などの制度・施策</p>
修了評価				
(合計時間数)				

シラバス（介護職員基礎研修）

課程 介護職員基礎研修課程

法人 株式会社スパータル

課程編成責任者 愛宕悦子

科目番号・科目名	(3) 高齢者・障害者等の疾病・障害等の理解			
指導目標	<ul style="list-style-type: none"> ・加齢・老化に伴う変化及び各種障害、主要疾患の概要について理解させる。 ・介護場面で直面する頻度の高い症状、疾病、障害を医学的に理解させる。 			
項目番号・項目名	時間数 (分)	うち 通学 時間数	うち 通信 時間数	目標・講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 加齢と生理	150	150	0	加齢・老化に伴う生理的な変化や心身の変化・特徴について説明できる。高齢者の生理的な変化に伴う基本的な生活上の留意点について説明できる。 ・加齢の生理学 ・高齢者の栄養と睡眠
② 高齢者に多い疾病の医学的理解	450	450	0	高齢者に多い疾病の種類と、その症状や特徴及び治療・生活上の留意点、予防について説明できる。 介護保険での特定疾病の種類を列挙することができる。 ・三大死因の疾病 ・高血圧と糖尿病 ・循環器系疾患 ・眼科疾患 ・皮膚科疾患 ・泌尿器系疾患 ・呼吸器系疾患 ・筋骨格系疾患 ・精神疾患 ・神経系疾患 ・介護保険での特定疾病
③ 障害と疾病	450	450	0	障害の概念（IHIDH, ICF）について、その変遷も踏まえて説明できる。各障害の内容・特徴及び障害に応じた社会支援の考え方について概説できる。 ・障害の概念 ・知的障害、ダウン症、自閉症、学習障害等 ・身体障害 ・精神障害 視覚障害、言語・聴覚障害 ・内部障害
④ 感染症の理解と予防	300	300	0	高齢者に起こりやすい主な感染症の種類とその特徴、発病のメカニズム、及び基本的な予防法について概説できる。 ・感染症の種類と特徴 ・高齢者に起こりやすい感染症 ・予防と留意点 ・感染症の媒介とならないための介護上の留意点
⑤ 訴えと症状の理解	450	450	0	高齢者の疾病による症状や訴えについて、その内容・特徴を具体的にあげるとともに、基本的な対応方法を事例に基づいて説明できる。 バイタルサインの種類とメカニズム、意味するところ、基本的な計測の仕方等について、具体的な生活場面に基づいて説明できる。 ・健康チェックとバイタルサイン ・呼吸器症状と感染症等の疾病 ・消化器症状と食中毒等の疾病 ・その他の訴え ・症状と疾病
修了評価			/	
(合計時間数)				

シラバス（介護職員基礎研修）

課程 介護職員基礎研修課程

法人 株式会社スパークル

課程編成責任者 愛宕悦子

科目番号・科目名	(4) 認知症の理解			
指導目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 認知症の病理や症状、治療について学ばせる。 ・ 認知症の方の支援の視点、ケアの原則を介護現場のリーダーとして学ぶ。 ・ 認知症の方への援助方法を学ぶ。 ・ 認知症の方の家族の立場を理解する。 ・ 認知症を支える専門職の役割を学ぶ。 			
項目番号・項目名	時間数 (分)	うち 通学 時間数	うち 通信 時間数	目標・講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 認知症の医学的背景の理解	300	300	0	健康な高齢者の「物忘れ」と、認知症による記憶障害の違いについて説明できる。認知症の基本障害と二次的に発生している問題とみなされがちな行動等の基本的特性、及びそれに影響する要因について説明できる。認知症と間違えられやすい症状について説明できる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 年齢相応の物忘れと疾患としての認知症の区別等 ・ 認知症の問題となる基本障害と行動 ・ 認知症を引き起こす原因疾病と発生誘因 ・ 認知症と間違えられやすい症状 ・ 若年性認知症
② 認知症の心理学的理解	300	300	0	認知症の心理・行動の理解の考え方、ポイントについて説明できる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 認知症の心理・行動モデル ・ 症状と障害の考え方 ・ 問題とされる行動の捉え方と対応
③ 認知症高齢者の介護	600	600	0	認知症の利用者への対応、及び介護の原則について、事例に基づいて説明できる。また、若年性認知症の特徴についても、同様に説明できる。認知症の利用者の健康管理上の留意点、廃用性症候群予防について、事例に基づいて説明できる。認知症の利用者への音楽療法、回想法、動作法、アクティビティ等の狙い、内容、及び生活場面での活用の視点について概説できる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 介護の原則と観察 ・ 健康管理、廃用性症候群予防 ・ 生活環境 ・ 社会活動 ・ コミュニケーション ・ 音楽療法、アクティビティ等 ・ 問題とされる行動（行動障害）と介護職員としてのとらえ方
④ 認知症介護における医療・保険・福祉サービスとの連携	300	300	0	認知症介護における医療・保険・福祉サービスとの連携の必要性及び実際について、事例に基づき説明できる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 認知症介護における医療・保険・福祉、関係機関、地域資源との連携、及び自立支援のための地域による支えあい
⑤ 家族へのケア	300	300	0	家族の気持ちや、家族が受けやすいストレスについて説明でき、更に専門家として、家族とのかかわり方、対応について、事例に基づいて説明できる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 家族の心理の共感的な理解 ・ 専門家としての関わり、対応の方法
修了評価			/	
(合計時間数)				

シラバス（介護職員基礎研修）

課程 介護職員基礎研修課程

法人 株式会社スパータル

課程編成責任者 愛宕悦子

科目番号・科目名		(5) 介護におけるコミュニケーションと介護技術			
指導目標		<ul style="list-style-type: none"> ・介護の考え方、視点を理解する、介護技術のスキルアップを図る。 ・利用者や家族とのコミュニケーション、関係作り、心のケアのための基礎的態度を習得する。 ・介護予防の考え方と方法を習得する。 ・福祉用具、住宅改修について理解する。 			
項目番号・項目名	時間数 (分)	うち 通学 時間数	うち 通信 時間数	目標・講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)	
① コミュニケーションと信頼関係形成の基礎的理解	450	450	0	<p>利用者の心身の状態やありのままの生活を理解し、介護過程に沿って尊厳を支える介護を展開できる。</p> <p>共感、受容、傾聴的態度、気づきなど基本的なコミュニケーション上のポイントと技法について、事例に基づいて説明できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションを考える。 ・他者を理解する・自己を理解する。 ・信頼関係を築くための基本姿勢 ・適切なコミュニケーションのための面接技術 ・コミュニケーション手段の障害 ・コミュニケーションと信頼関係 	
② 利用者・家族の理解と心のケアの基礎	450	450	0	<p>高齢者、障害者（児）の心理的特徴について、社会面、身体面、精神面、知的能力面などの変化に着目して概説できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者とその家族の心の理解 ・障害児（者）とその家族の心理的理解 ・心のケアの基礎 	
③ 介護技術 — 介護の考え方	1800	1800	0	<p>基本的な介護技術について、理論を踏まえた上で、それを応用して自立支援の視点で介護できる。</p> <p>心身機能の低下に沿った介護方法の事例や理論を踏まえた上でそれを応用して、自立支援の視点で介護を展開できる。</p> <p>「寄り添う」ケア「黒子として支える」ケアと、必要なケアを行わない「放任」ケアの違いを説明できる。</p> <p>ターミナルにおける心理的な変化、死の受容について説明できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢社会における介護の現状 ・高齢化に伴う介護ニーズの増大 ・介護技術を学ぶ必要性 	
④ 基礎的介護技術の習得—保有能力の向上・活用・維持を図る介護技術の習得	1800	1800	0	<p>適切なコミュニケーションに基づく利用者との協働によって介護を展開できる。</p> <p>要介護度の変化に沿った基本的な介護技術（方法）を、事例に基づいて説明できる。</p> <p>高齢者に多い障害の特性を理解し、基本的な介護方法（対応）を、事例に基づいて説明できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食事の介護 ・排泄、尿失禁の介護 ・移動、歩行の介護 ・睡眠（ベットメーカーキング）、夜間の介護 ・入浴、清潔の介護 ・衣服の着脱の介護 	

⑤ 福祉用具の活用と住宅改修の基礎的理解	450	450	0	<p>福祉用具、住宅改修等についての知識を持ち、利用者の生活を支えるという視点から、チームの中で助言や提案ができる。 在宅の生活における福祉用具・住宅改修の意義について説明できる。 主な福祉用具の種類を上げ、その活用法について説明できる。 住宅改修の基本的な考え方や具体的方法、配慮点等について、高齢者の障害の種類や程度、行動特性などに着目して説明できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在宅生活と福祉用具、住宅改修の意義 ・福祉用具と住宅改修の基礎
⑥ 介護予防の理解と方法の基礎的理解	450	450	0	<p>介護予防の考え方と方法を理解し、利用者の状況に応じて実践できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活の中の介護予防 ・介護予防プログラム
修了評価				
(合計時間数)				

シラバス（介護職員基礎研修）

課程 介護職員基礎研修課程

法人 株式会社スパーテル

課程編成責任者 愛宕悦子

科目番号・科目名	(6) 生活支援と家事援助技術			
指導目標	<ul style="list-style-type: none"> ・生活全体を支援する視点に基づき、生活環境の整備と家事援助技術を学ぶ。 ・家事援助と介護予防、自立支援のかかわりについて学ぶ。 ・ ・ 			
項目番号・項目名	時間数 (分)	うち 通学 時間数	うち 通信 時間数	目標・講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 生活支援の目的、機能と基本原則	600	600	0	介護（生活支援）における「家事援助（技術）」の意義・役割を説明できる。 家事援助の機能と基本原則について説明できる。 ・生活の理解 ・「生活支援」の枠組みの中における家事援助（技術）の意義、役割。 ・高齢者、障害者（児）に対する家事援助の機能と基本原則
② 生活の理解	300	300	0	高齢者、障害者（児）の家庭生活、経済生活について理解し説明できる。 高齢者の生活してきた時代背景・生活用品等踏まえて生活支援を行うことの重要性を説明できる。 ・現代生活の枠組み ・生活形成のプロセス・生活経営・家事労働 ・生活習慣の理解、多様な価値観の受容
③ 食生活の支援	300	300	0	調理方法の基本的な考え方と調理技術について説明できる。 栄養マネジメントの考え方、流れについて概説できる。 高齢者・障害者（児）に必要な栄養素とその働き栄養所要量について概説できる。 調理の実技演習で経験した食事を自分で作ることができる。 ・高齢者、障害者（児）と栄養ケアマネジメント・食生活のあり方 ・調理方法の基本的な考え方と調理技術・食品衛生の基礎理解 ・生活習慣病等に必要の食事の知識・特別食
④ 快適な環境の維持と安全管理	600	600	0	高齢者・障害者（児）にとっての住宅の役割と機能について説明できる。 掃除の基本的な用具や方法について説明できる。 高齢者・障害者（児）にとっての被服の役割と機能について説明できる。 ・被服生活の支援 ・住生活の支援
修了評価				
(合計時間数)				

シラバス（介護職員基礎研修）

課程 介護職員基礎研修課程

法人 株式会社スパータル

課程編成責任者 愛宕悦子

科目番号・科目名	(7) 医療・看護を提供する者との連携			
指導目標	<ul style="list-style-type: none"> ・医療、看護との連携の必要性和ケアチームの一員・現場のリーダーとして役割を理解する。 ・介護職がふれる機会の多い医療機器や薬、リハビリテーション医療等に関する基礎知識を習得する。 ・医療ニーズを持つ利用者に対して、医療、介護との連携の下で行う介護技術を習得する。 ・ターミナルケアへの対応について理解する。 			
項目番号・項目名	時間数 (分)	うち 通学 時間数	うち 通信 時間数	目標・講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 医療・看護との連携の基礎的理解	600	600	0	医療・看護との連携の必要性について説明ができ、その具体的な連携のとり方及び介護職員の役割について説明ができる。 非医行為の範囲について具体的に説明できる。 <ul style="list-style-type: none"> ・医療、看護との連携の必要性の理解と方法 ・非医行為の範囲と対応の基礎 ・褥瘡予防に関する基礎的理解 ・緊急時の対応
② 医療機器、医療用具、薬の基礎的理解	450	450	0	医療機器、医療用具の使用目的や利用者の生活上の留意点について概説できる。 主な薬の種類と効能、主な注意事項（服用方法・保管方法）について概説できる。 褥瘡の要因について概説でき、褥瘡予防・悪化防止における介護職員の役割と医療職との連携について説明ができる。 <ul style="list-style-type: none"> ・胃瘻、腸瘻、鼻腔栄養、中心静脈栄養、点滴 ・吸入、吸引 ・人口呼吸器、在宅酸素 ・浣腸、摘便 ・人工肛門、人工膀胱、腎瘻、膀胱瘻 ・薬（種類と服薬方法、副作用とリスク、多剤併用での相互作用）
③ リハビリテーション医療の基礎的理解	600	600	0	リハビリテーション医療の理念、目的、体系について説明できる。 リハビリテーションのあり方について概説できる。 緊急時に取るべき行動、応急処置の方法や留意点について説明できる。 <ul style="list-style-type: none"> ・リハビリテーションの理念、基礎 ・リハビリテーション医療の過程 ・リハビリテーションチーム職種との連携 ・介護予防とリハビリテーション
④ ターミナルケアへの対応	150	150	0	ターミナルケアの考え方、対応の仕方、留意点、本人と家族への説明と了解、介護職員の役割や他の職種との連携について説明できる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ターミナルケアの条件とチームアプローチ
修了評価			/	
(合計時間数)				

シラバス（介護職員基礎研修）

課程 介護職員基礎研修課程

法人 株式会社スパータル

課程編成責任者 愛宕悦子

科目番号・科目名	(8) 介護における社会福祉援助技術			
指導目標	<ul style="list-style-type: none"> ・介護において求められるソーシャルワークについて、理念を理解し実践的援助技術を習得する。 ・地域を含めた生活環境づくりの視点と方法を理解する。 ・困難事例等への対応において、どのような役割を果たすべきかを学ぶ。 ・利用者家族とのコミュニケーション技術、家族支援の具体的方法を学ぶ。 			
項目番号・項目名	時間数 (分)	うち 通学 時間数	うち 通信 時間数	目標・講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① ソーシャルワークの基礎的理解	300	300	0	介護におけるソーシャルワークの重要性と介護職員として持つべき視点について説明できる。 「バイスティックの7原則」について概説できる。 ・ケースワーク ・グループワーク ・コミュニティーワーク
② 相談援助とケアワークの基礎実践技術の習得	300	300	0	利用者・家族のニーズを把握し、社会資源に適切につなげるために、チームの中で提案することができる。 家族が抱きやすい心理や葛藤について概説でき、それに応じた適切なコミュニケーションや働きかけについて、事例に基づいて説明できる。 ・相談援助とは ・家族支援
③ チームケアとケアワーク	450	450	0	チームの一員として社会資源との連携・活用しつつ利用者・家族に対して働きかけや関わりを持つことができる。 ・チームケア ・連携とチームケア ・チームケアを実践するために
④ 地域に根ざした包括的ケアの基礎的理解	300	300	0	利用者の生活の場（施設・居宅）に応じて利用者の生活空間を地域に広げるための具体的な利用者の立場を設定して、様々な角度からその対応方法について説明できる。 ・コミュニティーワークの展開 ・近隣への依頼と連携 ・地域生活支援 ・社会福祉制度における地域包括支援と地域生活支援【今後の課題】
⑤ 困難事例への対応に関する事例を通じた理解	450	450	0	困難事例において、具体的な利用者や場面を設定して様々な角度からその対応方法について説明できる。 虐待、消費者被害等が疑われる典型的な兆候・場面などについて説明できるとともに虐待、消費者被害等が疑われる場合の原則的な対応の考え方を説明できる。 ・サービス拒否するクライアントへの働きかけ ・無力に陥っているクライアントへの働きかけ
修了評価				
(合計時間数)				

シラバス（介護職員基礎研修）

課程 介護職員基礎研修課程

法人 株式会社スパーテル

課程編成責任者 愛宕悦子

科目番号・科目名	(9) 生活支援のためのアセスメントと計画			
指導目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ケアプランのアセスメント、作成方法を学び、生活全体をプランする「生活プラン」を理解する。 ・アセスメントからケアプラン作成の流れと居宅サービス計画との関係を理解する。 ・ケアプランに基づいたサービスの流れと、事業所と職種間の連携、関係機関やボランティアとの連携について理解し、介護の現場のリーダーとしての役割を理解する。 			
項目番号・項目名	時間数 (分)	うち 通学 時間数	うち 通信 時間数	目標・講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① ケアプランとサービス計画に関する基礎的理解	750	750	0	<p>アセスメント、ケアプラン作成、各サービス計画の関係や流れを理解し、生活全体を支援するという観点から、どのような援助が必要かを考えることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ケアプラン、アセスメントと生活支援に関する理解 ・居宅サービス計画、各サービス計画（訪問介護計画、通所介護計画）とサービスの関係
② ケアプランとサービス計画の作成手順に関する基礎的理解	450	450	0	<p>「生活全体をアセスメントする」ことやニーズの把握の仕方について事例に基づいて説明できる。</p> <p>ケアマネジメントのプロセスとケアプランの内容、作成手順について説明できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アセスメントとニーズの把握 ・居宅ケアプランの作成 ・ICFのツールの使い方、実践の方法 ・各サービス計画（訪問介護計画、通所介護計画）の作成
③ ケアプラン・サービス計画とサービス提供の実際	600	600	0	<p>ICFの視点を生かしたケアプランの作成ポイント、ツールの使い方、既存ツールへの応用の仕方等について、事例に基づいて説明できる。</p> <p>各サービス計画（訪問介護計画、通所介護計画等）の位置づけ、意義、及び作成手順について説明できる。</p> <p>ケアプラン等に基づいたサービスの流れにおける、介護職員の役割、及び事業所、職種間の連携のあり方について、事例に基づいて説明できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ケアプラン・サービス計画に基づいたモニタリングと記録 ・介護職のアセスメントと連携、ケアプラン・サービス計画の見直し
修了評価			/	
(合計時間数)				

シラバス（介護職員基礎研修）

課程 介護職員基礎研修課程

法人 株式会社スパーテル

課程編成責任者 愛宕悦子

科目番号・科目名	(10) 介護職員の倫理と職務			
指導目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 職業人としての倫理の重要性、自己管理の重要性を理解させる。 ・ 事業別の職務内容、介護職の倫理や職務について理解させる。 			
項目番号・項目名	時間数 (分)	うち 通学 時間数	うち 通信 時間数	目標・講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 介護職員の職業倫理	300	300	0	介護職員の倫理や職務、基本マナー等について理解し、専門的な職業人としての自覚を持った行動ができる。 介護職員の職業倫理を列挙できる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 倫理と尊厳の理解 ・ 利用者本位、自立支援、利用者の代弁 ・ 守秘義務 ・ 所属機関と専門職としての倫理 ・ 地域福祉の推進 ・ 後継者の育成
② 生命倫理	300	300	0	生命倫理に関わる昨今の社会的事象について列挙できる。 「パターナリズム」の概念についてわかりやすく説明でき、介護職員として踏まえておくべき倫理について説明できる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 生命と倫理 ・ ターミナルにおける倫理（死の考え方、尊厳死と倫理） ・ 医療の進歩と倫理 ・ 医療・看護の倫理、パターナリズム
③ 基本的マナー	300	300	0	介護職員に求められる基本的なマナーのあり方やポイントについて具体的に説明できる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 挨拶、礼儀 ・ 依頼、助言、配慮のある断り方 ・ 利用者から金品を渡された場合の対応等
④ 介護職員の職務理解	450	450	0	介護職員としての共通の職務内容と、事業別のサービス実施のプロセス、介護職員の職務内容の特性について説明できる。 打ち合わせ、引継ぎ、会議の機能と重要性について概説でき、開催頻度、進行方法等を説明できる。 記録の機能と重要性について説明でき、事例に基づいて適切に記録を書くことができる。 「ひやり・はっと」の事例、介護事故の要望と対策の組織的な取り組みについて具体例を説明できる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 介護職員の職場の仕組みと職務内容 ・ 介護業務の共通性と事業別の特性 ・ ケアマネージャー、サービス提供責任者等の役割とサービス実施のプロセス（要介護認定、サービス担当者会議、サービス計画、目標に沿ったサービスの実施、モニタリング） ・ 利用者との契約、文書による確認、物品の保管、金銭管理、事故における事業者・労働者の責任 ・ 打ち合わせ、引継ぎ、会議の持ち方、進め方と発言の仕方。記録の役割と書き方、活用法。
⑤ 介護職員としての自覚、やりがい	450	450	0	介護職員の労働の権利と制度について説明できる。 介護職員に起こりやすい健康障害、受けやすいストレスについて列挙でき、それらに対する健康管理、ストレスマネジメントのあり方、留意点について、事例に基づいて説明できる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ よいキャリアのための自己研鑽、心身の健康管理等 ・ 専門職としての自覚と向上 健康管理・ストレスマネジメント
修了評価				
(合計時間数)				

シラバス（介護職員基礎研修・実習）

課程 介護職員基礎研修課程

法人 株式会社スパーテル

課程編成責任者 愛宕悦子

科目番号・科目名	(11) 実習	
指導目標	<ul style="list-style-type: none"> ・介護サービス施設・事業所における各職種の業務内容、連携、介護過程の管理・ケアマネジメントのための記録・会議・連携等の仕組み・実態等について体験し、チームケアの重要性とチームケア推進における介護職員の役割・姿勢・業務の実態を理解する。 ・介護過程を踏まえた基礎的な介護業務を体験することで、介護の目的・機能、利用者や家族とのかかわり方、コミュニケーションのあり方について体験的に理解を深めるとともに、介護の基本的な理念（尊厳、自己決定、人権擁護、自立支援、その人らしさの尊重、地域のなかでの暮らし等）と介護過程の考え方が、実践の中でどのように生かされているかを学ぶ。 ・在宅や施設等における利用者の生活を知ること、利用者・家族についての理解を深める。 ・各施設・事業所の役割、地域の社会資源等を知り、地域ケアシステムにおける介護サービス施設・事業所の役割を学ぶ。 	
項目記号・項目名	時間数・日数	目標・演習内容・実習プログラム等（別紙でも可）
(A)事前演習	8時間 ・1日	<ul style="list-style-type: none"> ・実習を円滑に実施するため、研修事業者において、実習の目標、スケジュール、留意点等についてオリエンテーションを行い、実習の課題・問題意識を形成する。 ・演習等により、基本的な介護技術の習得の有無を確認するとともに、事故防止の留意点を理解させる。 ・実習記録の書き方を理解させる。
(B)施設・居住型実習	80時間 ・10日	<ul style="list-style-type: none"> ・介護にあたっては、利用者の個性や人間関係を理解するための着眼点を理解できるように留意する。 ・また、介護目標を踏まえて、自立に向けた介護の考え方やプロセスを理解できるよう指導する。
(C)通所・小規模多機能型実習	32時間 ・4日	<ul style="list-style-type: none"> ・通所系サービスの機能・内容、および他の居宅サービスとの連携を理解できるよう留意する。 ・介護にあたっては、利用者の個性や人間関係を理解するための着眼点を理解できるように留意する。 ・また、介護目標を踏まえて、自立に向けた介護の考え方やプロセスを理解できるよう指導する。
(D)訪問介護実習	8時間 ・1日	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問介護サービスの機能・内容、および他の居宅サービス、関係機関との連携や、社会資源の活用状況等について理解できるよう留意する。 ・関係機関との連携や、社会資源の活用状況等について理解できるよう留意する。 ・利用者を取り巻く家族関係を理解し、配慮することの重要性を理解させる。 ・在宅の生活、利用者の日常生活の多様性、および介護の工夫の現状と自立に向けた支援の考え方について理解できるよう留意する。
(E)地域の社会資源実習	4時間	<ul style="list-style-type: none"> ・地域全体の社会資源、サポートシステムについて、理解できるよう留意する。
(F)事後演習	8時間 ・1日	<ul style="list-style-type: none"> ・個々人に実習の経験・気づき、自己の介護観等をまとめさせるとともに、個々人の経験を比較・相対化し、学びの共有化、意味付けを行う。 ・介護の現場における理想と現実の違いについて理解・認識を促す（例：現場で「できていないこと」を責めるのではなく、どのようにしてできるようにしているかを自分なりに考える機会にさせるなど）。 ・実習は介護の現場を体験的に理解する場であり、その経験がすべてではないことを理解させること。 ・介護行為の根拠となっている知識や基本的な介護技術を再認識させる。
(合計時間数)		